

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2013年度達成度評価表 分野:学生支援

		評価	理由
中期計画	1 健康的で充実した学生生活の実現		
実行計画	(1) 学生への生活支援策(健康管理・下宿・アルバイトなど)を強化する。	C	学外業者への依存傾向が見られ、かつ具体的な成果が十分に示されていない。
	(2) 学内奨学金制度などの見直しを行う。	—	今年度の計画は無い。
	(3) 各種相談室の充実とその連携協力体制を強化する。また、医務室の体制を整えていく。	B	学生相談室はおおむね目標を達成しているが、他の部署や医務室等との情報共有・連携では、まだ改善の余地がある。
	(4) 「なんでも案内」「ピア・サポート」などによる学生生活支援体制を構築する。	C	年度当初の「なんでも相談室」は順調であるが、一方「ピアサポート」には目立った活動が見られないので、その検証と改善策が必要である。
	(5) 新入生へのフォローアップ(サポート)体制を確立する。	B	基本的に前年度を踏襲しているため、支障が出るものではないが、より効果的なオリエンテーションとなるような検証と改善が必要である。
中期計画	2 安全で快適なキャンパス環境の充実		
実行計画	(1) ハラスメント防止策の徹底を図る。	C	より徹底した指導体制を構築する必要がある。
	(2) 禁煙指導を強化する。	B	現状、かなりの成果が見られる。
	(3) 防犯対策を強化する。	B	必要な対策はとられている。
	(4) 薬物乱用防止のための啓発活動を強化する。	B	必要な対策はとられているが、講習会などについて実効性の検証が必要である。
	(5) 学生のグループワークを促進するためのゾーンを設置する。	C	早急に検討を終え、具体的な施策を実施する必要がある。
	(6) 学内食堂、売店などの充実を図る。	B	100円朝食など前進している点はある。しかし、KACとKPCの格差を解消する方策を検討する必要がある。
	(7) 学内トイレ、洗面所などの改善を進める。	B	現状、一定程度の成果が見られる。
中期計画	3 課外活動の奨励と支援		
実行計画	(1) 課外活動参加者の増加策を検討する。	B	現状、一定程度の成果は見られるが、2015年度からの2キャンパス体制となることへの対策が講じられていない。
	(2) 強化クラブ、準強化クラブ制度の再構築を行う。	B	当初の目標どおり進んでいる。
	(3) 課外活動活性化推進室(仮称)の設置を検討する。	D	第4層「課外活動活性化推進室(仮称)の設置を検討する」という目標に関わる内容が記述されていない。
	(4) 課外活動および各種学生団体、グループの発表・展示・活動の促進と支援を図る。	C	若干の前進は見られるが、サポート体制としては質量ともに不十分である。
	(5) 課外活動施設・設備の充実を図る。	B	おおむね目標どおり進んでいる。
中期計画	4 キャリア支援の強化		
実行計画	(1) 企業訪問、学内企業説明会などによる企業との接点を強化する。	B	おおむね目標に沿って必要な対策はとられている。ただ、KACとKPCの2キャンパスになった場合の情報格差を防ぐ方策の検討が必要である。
	(2) インターンシップ制度の充実を図る。	C	形式的には目標に沿った対策はとられているが、就活との関連においてインターンシップの意味付けに変化があり、そのことを学生に十分に周知していない。あるいはこの項目自体が、社会に変化に即応できていない可能性がある。
	(3) 学生の就職活動状況の的確な把握のために、学部、研究科との連携を図る。	C	形式的には目標に沿った対策はとられている。ただ、学部教員の協力を得るための方策について、現状のやり方に対する検証が必要だろう。またメール配信による情報提供についても実効性の検証が必要である。
	(4) 既卒者を含む就職未内定者に対するサポート体制を強化する。	C	目標が立てられ、方策も実施されているが、実効性があり成果が出ているとは言い難い。根本的なところから効果的な方策を検討し、実行できる体制を作る必要がある。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る